

ICT 教材・機器 活用事例

| | | | | | |
|----------|---------|------|------|----|----|
| 学部 | 小学部 | 学年等 | 5年 | 教科 | 生活 |
| 授業名(単元名) | 重さを比べよう | | | | |
| 活用した場面 | 一斉学習 | 個別学習 | 協働学習 | | |

1. 使用した ICT 教材・機器および使用した理由・方法

①iPad

天秤の見本や、各児童が天秤を使用した様子を写真にし、全体で共有できるようにした。

また、天秤の傾きを答えることが難しい児童に対し、写真を撮って注目してほしい部分を Keynote のアニメーションを使って分かりやすくし、タッチして答えられるようにした。

②電子黒板

iPad で撮影した各児童の天秤の写真を Keynote のアニメーションを使って表示し、全体で共有できるようにした。

2. ICT 教材・機器を活用した活動場面

| 活動内容 | 指導上の留意点 | 準備物 |
|--|---|--------------------------|
| ○どちらがおもい? 電子黒板に写し出された天秤の傾きを見て、どちらが重いのかを考える。 | ・Keynote のアニメーションで天秤のお皿の位置と傾きを強調し、比較を行いやすくする。(画像1) (画像2) ・言葉で答えることが難しい児童には、「下にある方はどちら?」等と問いかけ、Keynote をタッチして表現することができるようにする。 | ①iPad ②電子黒板 |
| ○おもさクイズをつくろう 身の回りの物を2つ選び、天秤に置き重さを比べる。 | ・どちらが重いか迷っている児童には、iPad で撮影して比較するポイントを示し、タッチして答えられるようにする。 | ①iPad ・天秤セット |
| ○物の組み合わせを1つ決め、クイズを作る。 | ・クイズを作成した児童から iPad で撮影し、予め用意しておいた個人用 Keynote に反映する。 | ①iPad |
| ○クイズを出題する。 | ・ <u>児童が実際に天秤を用いてクイズを出題すると同時に、電子黒板にも Keynote のアニメーションで示し、比較するポイントを分かりやすくする。</u> | ①iPad ②電子黒板 ・天秤セット |

3. 活用の成果

- ・単元全体を通して比較する天秤のお皿や傾き等のアニメーションを統一したことにより、天秤での比較の仕方が定着した。
- ・クイズを出題する際にはアニメーションの仕様を統一した個人用 Keynote を予め用意し、これまでの授業内容と同じように考え、

協働学習に繋がるようにした。

- ・言葉で答えることが難しい児童でも自分の考えが表現できるように、リンク機能を使用してタッチ用の Keynote を作成した。iPad をタッチすることによって表現し、授業への参加度が上がった。教員も何を理解しているのか等の評価が行いやすくなった。